

オーストラリアの男性で、老若男女が気軽に楽しめる「タッチラグビー」。全国的に愛好者が広がる中、県内でも初のチームが結成された。1月1、2の両日には福井市のふくみ健康の森で東京、石川、愛知などの5チームを招いた合同練習会と交流戦を計画。競技の普及促進へ観戦や参加、多くの来場を呼び掛けている。

タッチラグビーなく気軽に

県内初チーム

県内で初めてチームをつくる。東京府柏江市のクラブチームしたのは、福井市の自営業員。ムに所属。2月に福福して以井原さん(左二)、昨年1月以降「タッチラグビーの魅力



11月の交流戦に向けタッチラグビーの練習に勤む越前がにピンキーズのメンバー。タックルはなく、タッチすれば攻撃を防げるため老若男女が一緒に楽しめる一泊日、福井市の下馬中央公園

荒井さん(福井)結成 来月交流戦、普及へ

福井でも広めたい」と友人や知人に声を掛け、週末ごとに練習会を開いた。2010年代、30代の男女10人が集まった。チーム名は今後、全国大会などに出場したときに福井のアイビールになるまで、「観戦がにピンキーズ」とした。

タッチラグビーは、タックルやスクラムなど激しい接触プレーがなく、体にタッチするだけで相手の攻撃を止められるのが特徴。ボールもラグビーボールより一回り小さく、女性にも扱いやすい。

試合は6人対6人で行う。攻撃側と守備側に分かれ、攻撃側が右回タッチされたら攻守交代。ベンチの控えメンバーとは何回でも入れ替わることができ、敵陣のゴールゾーンにトライできたら1点。巧みなパスやランなど、相手の守備陣形を崩す戦術が大きなポイントとなる。

荒井さんは「けがの危険が少なく、筋力もそれほど必要としないため女性も子供も年齢問わず、みんな一緒に楽しめる」と強調。柏江のクラブでは、「コーヒー」店を営む助成の人が、「いつまでも立ち仕事を経たいから」とプレーしていた」と紹介し、「健康づくりでもダイエットでも目的は何でもいいから一緒に汗を流そう。初心者も大歓迎」と呼び掛けている。問い合わせ、合同練習会などへの参加申し込みは、荒井さん(電子メール: oawake172@yahoo.co.jp)へ。